

練二通信

No. 414

令和3年10月29日
練馬第二小学校
校長 濱中 一

わかる授業 高まる楽しさ 研究発表会に向けて

校長 濱中 一

練二小は、令和二年度・三年度の二
年間、練馬区教育委員会教育課題研究
指定校として、算数科の授業研究に取
り組んでいます。本校の教育活動の目
的は、「安全安心な学校づくり」を基盤
に、「知・徳・体の調和」のとれた子供
たちを育むこと。これまで本校は五年
間『主体的に学び続ける子供の育成』
をテーマに、外国語、道徳、算数の研
究に取り組んできました。現在取り組
んでいる算数科は、全学年で週に五時
間行われる主要教科であり、練二小の
「知」を支えるものです。研究副主題
は『子供が見方・考え方を働かせなが
ら学ぶ算数授業』年間講師 元東京都
算数教育研究会会長 元玉川大学教授の
柳瀬 泰先生にご指導いただきながら、
学ぶ楽しさを子供たちに味わわせる算
数授業を追究しています。

研究指定校一年目の昨年度は、コロ
ナ禍で研究会を思うように実施するこ
とができない中、年度後半に3回の授
業研究を行い、今後練二小の研究が進
むべき方向を定めました。そして指定
校二年目の本年度は、昨年度からの実
践をより積み上げ、各学年が1回、計
6回の授業研究を重ねました。追究し
てきたのは、教師が子供の目線に立ち、
子供の思考を確かめながら課題を焦点
化し、子供の発想でまとめる授業。子
供の発想を活かしてその時間の課題を
設定し、子供と共に考え課題を解決し、
最後は子供の言葉を授業のまとめにつ
なげる。これまで教師の発想を中心
に進めがらだった授業から、子供の思考
に寄り添う授業への転換。必要だった
のは、教師の大きな意識改革です。
一人一人の教師が、これまでの教師
主導型の授業を改め、子供から出た全
ての発想を吸い上げ、整理し、課題を
焦点化する授業を、日常の授業で実践
し始めました。これは、本校の算数科
研究における大きな成果です。十月二
十日に今年度最後の実証授業を終え、
現在はこれまでの研究成果と今後の課
題を集約し、一月の研究発表会当日に
行う授業研究について深く検討してい
るところです。

そして、来る令和四年一月二十一日
には、これまでの研究成果を報告する
研究発表会を行います。当日は、全学
級で授業研究を行います。感染症拡大
状況が落ち着けば、保護者の皆様、地
域の皆様に、子供たちが生き生きと学
ぶ姿をご覧いただきたいと考えていま
す。詳細は改めてご案内します。ご期
待ください。

『学びの秋』本番です。「わかる授業」
を実践し、「高まる楽しさ」を子供たち
に味わわせ、『笑顔あふれる練二小』に
していきます。

十月の朝会・昼の会より

○気持ちのいい挨拶をしているか。あ
いさつは自分のため。笑顔で続けよ
う。

○十月の目標は「元氣よく運動しよ
う」練二小の中休みは全員が校庭に
出て遊びます。今週も元氣に過ごそ
う。

○雲一つない秋の青空。スポーツの
秋、食欲の秋、勉強の秋、読書の秋。
大きな行事がなく、一年で一番落ち
着いて取り組める時期。たくさん本
を読もう。

○日本では古来から八百万の神がい
ると言われている。その神が出かけ
ていなくなるという月が十月「神無
月」。神の数は少ないという教えも
あるし、神は一人と信じる人もい
る。神を信じるかどうかはその人次
第。その考えは尊重されなければな
らないが、考えの違いで争ったり、
戦争をしたりしている人々もいる。
君達の力で、平和な世界の未来をつ
くっていきましょう。

十一月の行事予定

- 1 (月) 起震車体験 (六年)
- 委員会活動
- 3 (水) 文化の日
- 8 (月) お話の会 (三年、四年)
- 9 (火) クリーン運動
- 10 (水) お話の会 (五年、六年)
- 就学時健康診断 (午前授業)
- 11 (木) 避難訓練
- 13 (土) 土曜授業 (公開あり)
- 情報モラル講習会 (三、五年生)
- 16 (火) 岩井移動教室 六年
(～11月17日まで)
- 23 (水) 勤労感謝の日
- 24 (木) 午前授業
- 25 (木) 学習発表会リハーサル
- 26 (金) 学習発表会 児童鑑賞日
- 27 (土) 学習発表会 保護者鑑賞日
給食あり
- 29 (月) 片付け (五年・5時間目)
振替休業日

★今月の生活目標

・健康に気をつけよう。

★週の生活目標

- ・手洗い・うがいをする。
- ・休み時間は、外で元氣よく遊ぶ。



たけまるスポーツフェスティバルを終えて

体育的行事部

十月二日、晴れ渡る秋空のもと、たけまるスポーツフェスティバルを開催しました。短い練習期間でしたが、短距離走と表現の学習を通して、一人一人が目標をもち、練習を重ねてきました。当日は、子供達の真剣なまなざしと笑顔をご覧いただけたことと思います。

「チエツコリ玉入れ」(二年生)

みんなで力を合わせて、初めて行った玉入れを、笑顔いっぱい、楽しみました。チエツコリダンスは、大きく腰を振って、かわいい一年生を表現しました。

「やってみよう」(二年生)

二年生は、「やってみよう」という、テンポのはやい曲でのダンスに取り組みました。一所懸命練習し、元気いっぱい踊りました。

「花笠音頭」(三年生)

体を大きく動かし、堂々と踊りました。自信をもつこと、みんなと心を合わせることの大切さについて気付く良い機会となりました。

「ダイナマイト」(四年生)

子供たち一人一人が課題をもって取り組んできたダイナマイトのダンス。みんなが自分の力を出し切り、心を一つに堂々とした演技を披露しました。

「練ニソーラン」(五年生)

軽快な音楽と共に、高学年としての「力強さ」、「心を一つに」をテーマにソーラン節を踊りました。一人一人の選んだ漢字を背中に背負い、想いを込めて表現しました。

「心をひとつに。今を超える！」

(六年生)

なわ跳びと一人技を中心に、動きをそろえた集団の美しさ、集団としての成長、そして、緊張感をもって行うことを心構えとして取り組みました。今の自分を超えようと、学年で気持ちをひとつにして取り組みました。

ご家庭でもご支援・励ましをいただきありがとうございます。



学習発表会に向けて

学芸的行事部

十一月二十六、二十七日に秋の学芸的行事「学習発表会」を開催します。

学習発表会は、教科での学びを様々な表現方法で発表します。発表の中心となる教科・領域も、学年によって国語、総合的な学習、外国語、社会と多岐に渡っています。

また、学んだ内容をどのように表現し伝えるか、発達段階に応じて子供たち自身で考え、音読、劇、プレゼンテーションの作成など、工夫をしながら取り組んでいます。是非、本番に向けて発表を創り上げていく過程をご家庭でもお子様から聞いてみてください。

詳しくは、別途お便りにてお知らせいたします。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

図工室から

図工専科

図工では、子供たちが活動の中で発見した面白さを表現して楽しむ姿が見られています。図工で学習している内容を、学年ごとにお伝えします。

一年生「せんのかんじ いいかんじ」では、小学校になって初めて絵の具を使いました。細い線をつなげていきながら、形から想像したことを話しながら楽しく取り組むことができました。

二年生「えのぐをたらした かたちから」では、絵の具をたらしした模様から見えてくる形を想像して、絵に表しま

した。紙の上をすべる絵の具を見ながら「電車の線路みたい」「つながると色が変わっていくよ」と言う様子がありました。

三年生「袋の中には、何が…」では、自分の行ってみたい世界につながる入口を袋の中に作りました。お互いに作品を覗き込みながら、友達作品の世界に入って意見を交わしました。

四年生「かみわざ！小物入れ」では、一枚の紙から立体の箱を切り出しました。立方体の形を組み合わせて、思い思いの形を作り上げることができました。

五年生「見つけて！ワイヤードリーム」では、ワイヤーを使った立体工作に挑みました。少し硬さのある素材ですが、今まで培ってきた技術を生かして、形や色に様々な工夫が見られました。

六年生「私はデザイナー」では、一枚の板から設計図を作り、箱を組み立てました。六年間の学習の集大成となる立体作品のため、自分が満足できる作品になるように一人ひとり丁寧に作品作りに取り組みました。

図工では、作品を見ると、子どもの創意工夫溢れる様子が伝わるような作品作りを心がけています。ぜひ学校公開では作品にも目を向けて、子供たちがどのように作ったのか想像しながら見てみてください。

